



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 株式会社 ニッキ
 コード番号 6042 URL <http://www.nikkinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 和田 孝
 (氏名) 田中 宣夫

TEL 046-285-0227

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第1四半期 | 1,889 | 14.4 | 277 | — | 326 | — | 226 | — |
| 2021年3月期第1四半期 | 1,651 | △19.7 | △24 | — | △7 | — | △48 | — |

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 236百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △19百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第1四半期 | 118.92 | — |
| 2021年3月期第1四半期 | △25.55 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期第1四半期 | 14,075 | 8,348 | 59.2 | 4,376.08 |
| 2021年3月期 | 13,347 | 8,215 | 61.4 | 4,306.15 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 8,326百万円 2021年3月期 8,193百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | 55.00 | 55.00 |
| 2022年3月期 | — | | | | |
| 2022年3月期(予想) | | 0.00 | — | 55.00 | 55.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 3,800 | 35.0 | 280 | — | 300 | — | 150 | — | 78.84 |
| 通期 | 7,500 | 27.2 | 400 | 78.5 | 400 | 14.1 | 260 | 1.2 | 136.65 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期1Q | 2,000,000 株 | 2021年3月期 | 2,000,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期1Q | 97,336 株 | 2021年3月期 | 97,336 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2022年3月期1Q | 1,902,664 株 | 2021年3月期1Q | 1,892,664 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や設備投資に一部持ち直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、世界経済も、ワクチン接種率の増加等に伴い一部地域では景気回復の兆しが見られる一方で、感染再拡大の懸念に加え、長期化している米中対立の影響、半導体の供給不足、原材料の高騰、物流の停滞等のリスク要因もあり、先行きは一段と不透明感を増しております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の業績は、当社の主力市場の一つである北米市場の需要回復が続いていること等により、連結売上高は18億8千9百万円（前年同期比14.4%増加）となりました。

損益につきましては、売上高の増加、採算性の改善効果や為替相場が想定よりも円安基調で推移したこと等により、営業利益は2億7千7百万円（前年同期は2千4百万円の営業損失）、経常利益は3億2千6百万円（前年同期は7百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億2千6百万円（前年同期は4千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

ガス機器事業は、フォークリフト向け部品の販売増加や受託実験の増加等により、売上高は7億1百万円（同23.9%増加）、セグメント利益は1億9百万円（前年同期は1億2千万円の損失）となりました。

汎用機器事業は、主要マーケットである米国市場の販売増加等により、売上高は8億9千1百万円（同5.1%増加）、セグメント利益は5千4百万円（同498.4%増加）となりました。

自動車機器事業は、インド市場の販売回復等により、売上高は1億5千8百万円（同62.2%増加）、セグメント利益は7百万円（前年同期は1千6百万円の損失）となりました。

不動産賃貸事業は売上高1億3千7百万円（同1.1%減少）、セグメント利益は1億4百万円（同1.0%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は140億7千5百万円と、前連結会計年度末と比べて7億2千8百万円増加しました。主な増減項目は、その他の有形固定資産の増加（4億5千7百万円）、受取手形、売掛金及び契約資産の増加（2億5百万円）であります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は57億2千7百万円と、前連結会計年度末と比べて5億9千4百万円増加しました。主な増減項目は、その他の流動負債の増加（5億7千5百万円）、未払法人税等の増加（9千7百万円）、賞与引当金の減少（6千4百万円）であります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は83億4千8百万円と、前連結会計年度末と比べて1億3千3百万円増加しました。主な増減項目は、利益剰余金の増加（1億2千2百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月28日に開示いたしました第2四半期累計期間の連結業績予想値、通期連結予想値の変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,870,104 | 3,745,896 |
| 受取手形及び売掛金 | 860,557 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 1,066,072 |
| 電子記録債権 | 287,917 | 346,767 |
| 商品及び製品 | 900,743 | 995,099 |
| 仕掛品 | 1,050,617 | 1,135,974 |
| 原材料及び貯蔵品 | 66,030 | 68,617 |
| その他 | 214,231 | 295,603 |
| 貸倒引当金 | △7,972 | △8,105 |
| 流動資産合計 | 7,242,231 | 7,645,925 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,376,542 | 2,360,387 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 776,202 | 732,417 |
| その他(純額) | 1,166,140 | 1,623,162 |
| 有形固定資産合計 | 4,318,884 | 4,715,967 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 44,144 | 44,205 |
| 投資有価証券 | 1,707,879 | 1,635,461 |
| その他 | 34,674 | 34,324 |
| 投資その他の資産合計 | 1,742,553 | 1,669,786 |
| 固定資産合計 | 6,105,582 | 6,429,958 |
| 資産合計 | 13,347,813 | 14,075,883 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 92,372 | 94,992 |
| 電子記録債務 | 335,830 | 397,130 |
| 短期借入金 | 2,300,000 | 2,300,000 |
| 未払法人税等 | 28,907 | 126,587 |
| 賞与引当金 | 144,012 | 79,046 |
| その他 | 517,081 | 1,092,568 |
| 流動負債合計 | 3,418,203 | 4,090,325 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 150,000 | 150,000 |
| 退職給付に係る負債 | 646,205 | 610,848 |
| その他 | 918,151 | 876,072 |
| 固定負債合計 | 1,714,356 | 1,636,921 |
| 負債合計 | 5,132,559 | 5,727,246 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 500,000 | 500,000 |
| 資本剰余金 | 44,762 | 44,762 |
| 利益剰余金 | 6,936,372 | 7,059,161 |
| 自己株式 | △229,815 | △229,815 |
| 株主資本合計 | 7,251,319 | 7,374,108 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 921,662 | 871,192 |
| 為替換算調整勘定 | △38,883 | 25,355 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 59,052 | 55,558 |
| その他の包括利益累計額合計 | 941,831 | 952,106 |
| 非支配株主持分 | 22,103 | 22,422 |
| 純資産合計 | 8,215,253 | 8,348,637 |
| 負債純資産合計 | 13,347,813 | 14,075,883 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,651,431 | 1,889,122 |
| 売上原価 | 1,344,716 | 1,275,122 |
| 売上総利益 | 306,715 | 614,000 |
| 販売費及び一般管理費 | 330,798 | 336,674 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △24,083 | 277,325 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,853 | 2,662 |
| 受取配当金 | 27,663 | 35,998 |
| 為替差益 | — | 6,540 |
| その他 | 6,092 | 11,443 |
| 営業外収益合計 | 37,609 | 56,645 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,673 | 7,454 |
| 為替差損 | 12,889 | — |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 20,562 | 7,454 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △7,036 | 326,516 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 213 |
| 特別利益合計 | — | 213 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 0 | 427 |
| 特別損失合計 | 0 | 427 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △7,036 | 326,301 |
| 法人税等 | 63,457 | 99,580 |
| 過年度法人税等 | △17,981 | — |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △52,512 | 226,721 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △4,151 | 449 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △48,361 | 226,272 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △52,512 | 226,721 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 80,789 | △50,469 |
| 為替換算調整勘定 | △48,857 | 64,109 |
| 退職給付に係る調整額 | 1,214 | △3,494 |
| その他の包括利益合計 | 33,146 | 10,145 |
| 四半期包括利益 | △19,366 | 236,867 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △13,168 | 236,547 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △6,197 | 319 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過の取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過の取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過の取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過の取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | ガス機器 事業 | 汎用機器 事業 | 自動車機 器事業 | 不動産賃 貸事業 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) |
|-----------------------|------------|------------|-------------|-------------|-----------|-----|------------------------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 566,316 | 848,243 | 97,910 | 138,962 | 1,651,431 | — | 1,651,431 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 566,316 | 848,243 | 97,910 | 138,962 | 1,651,431 | — | 1,651,431 |
| セグメント利益又は損 失(△) | △120,124 | 9,176 | △16,938 | 103,803 | △24,083 | — | △24,083 |

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | ガス機器 事業 | 汎用機器 事業 | 自動車機 器事業 | 不動産賃 貸事業 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) |
|-----------------------|------------|------------|-------------|-------------|-----------|-----|------------------------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| 日本 | 513,896 | 24,717 | 119,340 | — | 657,954 | — | 657,954 |
| 米国 | 31,234 | 816,876 | 1,400 | — | 849,510 | — | 849,510 |
| 中国 | 32,781 | 39,288 | — | — | 72,069 | — | 72,069 |
| 韓国 | 29,243 | 10,084 | — | — | 39,328 | — | 39,328 |
| その他 | 94,508 | 153 | 38,105 | — | 132,767 | — | 132,767 |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 701,664 | 891,120 | 158,845 | — | 1,751,630 | — | 1,751,630 |
| その他の収益 | — | — | — | 137,492 | 137,492 | — | 137,492 |
| 外部顧客への売上高 | 701,664 | 891,120 | 158,845 | 137,492 | 1,889,122 | — | 1,889,122 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 701,664 | 891,120 | 158,845 | 137,492 | 1,889,122 | — | 1,889,122 |
| セグメント利益 | 109,672 | 54,908 | 7,854 | 104,890 | 277,325 | — | 277,325 |

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更が報告セグメントの売上高及び利益又は損失に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。